

製品名: TYRO3 (5G16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19468**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,IP 1:100-1:200
分子量	97kDa

抗原情報

遺伝子名	TYRO3
別名	Brp; BYK; DTK; Etk-2; Rek; RSE; SKY; Tif; tyro3;
遺伝子 ID	7301.0
SwissProt ID	Q06418
免疫原	ヒト TYRO3 の合成ペプチド

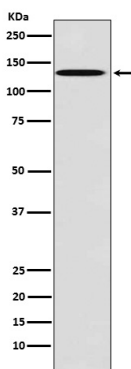
背景

特に中枢神経系において、細胞接着プロセスに関与している可能性がある。フィロウイルス感染の場合、細胞侵入因子として機能すると思われる。TULP1 や GAS6 などのいくつかのリガンドに結合して、細胞外マトリックスから細胞質へシグナルを伝達する受容体型チロシンキナーゼ。細胞の生存、移動、分化など、多くの生理学的プロセスを制御します。細胞表面でのリガンド結合により、下流のシグナル伝達分子のドッキング部位となる細胞内ドメインで TYRO3 の二量体化と自己リン酸化が誘導される。リガンドによる活性化後、PIK3R1 と相互作用し、PI3 キナーゼの活性を高める。NF- κ B の核移行や NF- κ B 制御遺伝子の転写の上方制御など、AKT 生存経路を活性化する。TYRO3 シグナル伝達は、興奮毒性障害からのニューロン保護、血小板凝集、細胞骨格再構成など、さまざまなプロセスで役割を果たしている。また、STAT1 を活性化することで、サイトカインシグナル伝達抑制因子 SOCS1 および SOCS3 の生成を選択的に誘導し、Toll 様受容体 (TLR) を介した自然免疫応答の阻害にも重要な役割を果たします。

研究分野

-

画像データ



MCF7 細胞溶解物における TYRO3 発現のウェスタン ブロット分析。